

2024年度 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修実施要綱

1. 本研修の目的

社会福祉士は、それぞれの実践の場において、ソーシャルワーカーとしての役割と機能を果たすことが求められています。これらの役割と機能を果たしていくために、(公社)日本社会福祉士会では、生涯にわたり研鑽を積み重ねて行くべき共通の研修課題として、「権利擁護」「生活構造」「相談援助」「地域支援」「福祉経営」「実践研究」の6つの共通基盤を設定しています。

今回の研修は、東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 准教授の大石剛史先生を講師に迎え、「地域共生社会の現状と課題」について、私たち社会福祉士がどのように対応し、どのような役割を果たしていくべきか、講義や演習を通じて学び合いたいと思います。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

2. 期 日

2025年2月1日(土)～2月2日(日)

※申し込み期限2025年1月24日(金) 定員になり次第締め切ります。

3. 場 所

茨城県水戸市千波町1918番地 セキショウ・ウエルビーイング福祉会館4階「大研修室」

4. 対象者

福祉現場で実践を行っているすべての社会福祉士 定員50名
(非会員・他県士会の会員も受講可能です。)

5. 研修日程

裏面、研修プログラムのとおり

6. 受講料

会員:4,000円 非会員:6,000円

7. 申し込み方法

○茨城県社会福祉士会のホームページにある専用フォームからお申込みください。

掲載ページ:研修情報→茨城県社会福祉士会主催→共通基盤研修

◆アドレス→ <https://www.csw-iba.org/mailform.php?code=100>

右のQRコードを読み取ると、申込フォームにアクセスできます。



ホームページからのお申込みが難しい場合は、メールで事務局までお問い合わせください。

○申込後、事務局から請求書を送付いたしますので、お近くの金融機関から指定口座に参加費用を振り込んでください。なお、振込手数料は各自ご負担ください。

○振込が確認でき次第、受講票をお送りします。当日は、忘れずに受講票をお持ちください。

○受講申し込み後、欠席または申し込み事項の変更があった場合は、速やかに茨城県社会福祉士会事務局までご連絡ください。

8. 懇親会について

研修会場近くの「がんこ家」にて2月1日(土)17:30から2時間程度の懇親会を開催します。

費用は5,500円です。

○上記の研修申し込み専用フォームより一緒にお申込みください。

裏面に続きます

2024年度 第1回 茨城県社会福祉士会 社会福祉士共通基盤研修プログラム

◆2月1日(土)

時 間	内 容
13:00~13:10	オリエンテーション
13:10~16:30	《地域支援》 講義及び演習 講義①「地域共生社会の現状と課題」 演習①「地域共生社会と自分自身の関わり」 講師:大石 剛史 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 准教授)

◆2月2日(日)

9:00~12:10	《地域支援》 講義及び演習 講義②「先進事例から学ぶ地域共生社会」 演習②「地域共生社会の実現方法を考える」 講師:大石 剛史 氏 (東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 准教授) 地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制の構築や地域での助け合いの必要性が世代を超えて認識されています。しかし、福祉問題の複雑・多様化や、社会的孤立などにより、ニーズに対して適切にアプローチできない現実もあります。 このような現状と課題について、私たち社会福祉士は、どのように対応し、どのような役割を果たしていくべきか、講義や演習を通じて学び合いたいと思います。
------------	---

◆お問い合わせおよび参加申し込み先

茨城県社会福祉士会事務局

〒310-0851 水戸市千波町1918番地 セキショウ・ウエルビーイング福祉会館 5階

電話:029-244-9030

FAX:029-244-9052 E-mail:csw-iba@ibaraki.email.ne.jp

講師紹介

◆大石剛史 先生

【現職】 東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 准教授

【学位】 社会福祉学修士(2000年3月 日本社会事業大学大学院)
社会福祉学博士(2017年3月 東北福祉大学大学院)

【経歴】 2000年4月～2024年3月 国際医療福祉大学, 医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科
にて教鞭をとり 2024年4月から東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 准教授に就任

【主な著書・論文等】

* 医療・福祉資源の乏しい自治体における終末期在宅療養支援の現状と課題に関する研究：
A市の終末期在宅療養に関わる専門職へのアンケート調査より

社会福祉士 / 日本社会福祉士会学会運営委員会 編 (30) 4-12 2023年3月

* 多文化共生のための福祉教育・ボランティア学習のあり方の批判的検討：交流・創成型多文化共生概念、越境性のボランティアリズム、ケアリングコミュニティの理論を用いて-A Critical consideration of Socio-education and Service Learning for Intercultural cohesion：Using The concept of Interculturalism, Transboundary voluntarism and the Theory of Caring-communities-特集/課題別研究 多文化共生とボランティアリズム

日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要 / 日本福祉教育・ボランティア学習学会機関誌編集委員会 編 39 11-25 2022年

* 福祉の現場から 「新しい地域包括支援体制」に期待されるソーシャルケアサービス従事者の課題：リフレクションによる葛藤対応を基にした多職種連携から協働・統合のために

地域ケアリング 18(7) 106-109 2016年7月

【主な出版物】

* ケアリングコミュニティの理論：社会福祉の新しい地平を拓く地域福祉のメタ理論

* 地域福祉論—基本と事例（社会福祉の新潮流）小林 雅彦（担当：共著）

学文社 2021年9月22日

【主な講演・口頭発表等】

* 地域共生社会におけるソーシャルワーカーの現状と課題～栃木県内重層的支援体制整備事業実施自治体と基幹型地域包括支援センターに焦点をあてて～

大石剛史, 飯島恵子, 上野晃司, 豊田喜代司, 穂積英男, 松永千恵子, 稲見聡, 鈴木寿弥, 野口悦紀, 渡辺修宏

第32回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（栃木大会） 2024年6月23日